

2. 指標設定

成果指標	指標名	年間農業生産額	目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	120億円			総合計画／後期基本計画において、基本施策(4-1-1)の目標としているため		
活動指標	指標	a 営農普及支援ネットワーク協議会の開催	b	安全安心農業推進協議会の開催	c	市内小中学校の農業体験学習の開催(校)	d
	数値	目標	2回	目標	6回	目標	2校

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
年間農業生産額	億円	-	-	-

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 営農普及支援ネットワーク協議会の開催	回	- 回	- 回	2 回 100.0 %
b 安全安心農業推進協議会の開催	回	- 回	- 回	6 回 100.0 %
c 市内小中学校の農業体験学習の開催(校)	校	- 校	- 校	2 校 100.0 %
d				

4. 課題と対応

課題
本市の農業振興を目指した持続的な農業の確立
対応(改善点等)
担い手確保に向けた人づくり、そして産地化・ブランド化を目指したものづくりを関係機関連携による新たな推進体制のもと取り組む。(インキュベーション事業・戦略重点品目の設定)

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

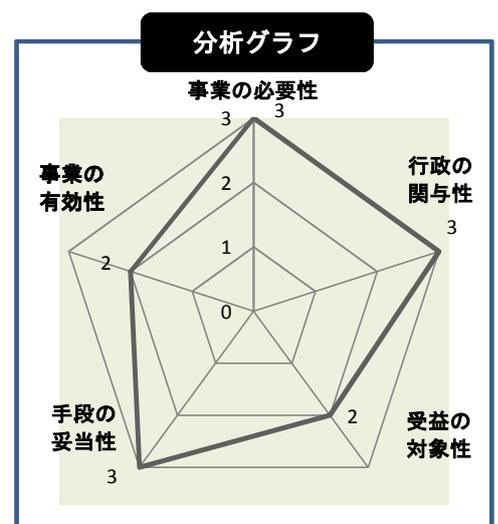
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		39,268	35,610	37,991	52,667
うち経常経費		1,461	239	3,670	6,313
財源内訳	国費				
	県費	10,404	5,951	529	11,045
	市債				
	その他				
	一般財源	28,864	29,659	37,462	41,622
うち経常		1,461	239	3,670	5,751
事業費に係る人件費		5,094	5,973	10,073	10,320

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
<ul style="list-style-type: none"> ・農地・水・環境保全向上対策事業については平成23年度を持って終了 ・その他の事業については、平成22年度よりスタート。第2次農業振興計画に掲げた達成目標に向けた取組として継続する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 戦略・重点品目の産地化及びブランド化を早急に推進するための営農指導の強化が必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 事業の推進にあたっては、農業者はもとより、農協、県及び市が一体となった取組が重要
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 農業者のみならず、学校教育への支援を行うとともに市民の安全・安心な農業に対する啓発活動にも事業展開する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 成果指標を達成するためには必要な活動指標である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 農業生産額の向上に努力する



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	市独自で統計調査を行う必要がある。 農業振興計画に基づき生産額の向上に努めること